



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

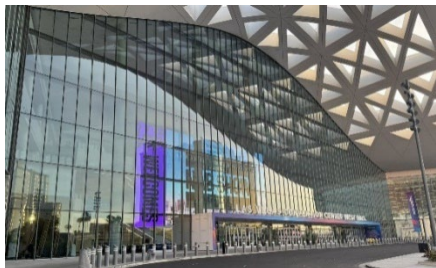
No.1448 2025 年 4 月 28 日

ARIB の動き

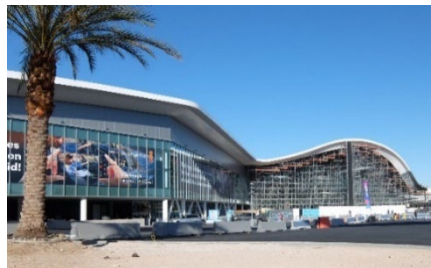
NAB Show 2025 の概要報告

1. はじめに

NAB（全米放送事業者協会）が主催する世界最大級の放送機器・メディアの祭典“NAB Show 2025”が 4 月 5 日（土）から 9 日（水）まで、ラスベガス・コンベンションセンター（LVCC）において開催されました（機器展は 6 日（日）から）。今回の NAB Show は、ノース、サウス及びウエストの各ホールで開催され、約 1,100 の企業参加（125 社が初出展）と、事前登録で約 55,000 人規模の来場者が世界 160 か国から集まりました。53%は初めての参加であり、26%は米国外からの参加でした。今年で 102 周年を迎えた NAB Show の今年のテーマは、「ストーリーテリングのスケール化（Scaling Storytelling）」で、このテーマのもと、AI（人工知能）、クリエイターエコノミー、スポーツ、ストーリーミング・OTT、クラウド仮想化など、メディア・エンターテインメント業界を牽引する最新トレンドや技術革新が大きく取り上げられました。



ウエストホール



ノースホール

（右は工事中のセンターホール）

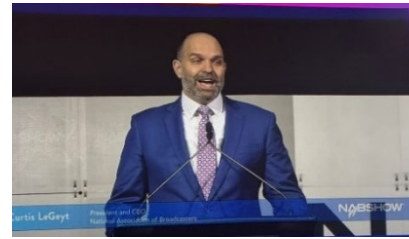
2. ウェルカムセッション

4 月 7 日（月）10 時からメインステージで、NAB Show のウェルカムセッションが開催されました。NAB 会長兼 CEO の Curtis LeGeyt 氏は放送・メディア業界の多様なストーリーテラーやクリエイターが集うこのイベントの意義を強調し、「ストーリーは人々をつなぎ、インスパイアする力がある」と述べ、戦争や災害、スポーツやエンターテインメントなど、様々な現実やファンタジーを通じて共有される人間経験の重要性を語るとともに、業界が AI や新技術を活用しながら進化し続けていることにも触れました。

基調対談として、スポーツチャンネル ESPN の人気スポーツトーク番組「First Take」のスターであり、ベストセラー作家でもある Stephen A. Smith 氏が登壇し、メディアの進化、スポーツエンターテインメントの未来などについて自身の見解を語りました。



ウェルカムセッションの様子



NAB 会長兼 CEO LeGeyt 氏

3. 展示内容

「ストーリーテリングのスケール化」をテーマに、「創造（Create）」、「接続（Connect）」、「収益化（Capitalize）」の3つのカテゴリーに分けて、3つのホールで展示が行われました。展示分野としては AI、クリエイターエコノミー、スポーツ&ライブプロダクション、クラウド・IP・バーチャルプロダクション、ストリーミング・OTT など多岐にわたりました。ATSC ブースでは全米での ATSC3.0 の普及状況や、ブラジルの TV3.0 に対応したプロトタイプ受信機（RF 部なし）などが展示されました。



ATSC ブース



TV3.0 (DTV+) 受信機プロトタイプ

日本企業の主な展示は以下のとおりです。

【パナソニック】

「Amplifying Innovation, Maximizing Our Impact」をテーマに、5つのゾーンと IP/IT ライブ制作システムのタッチ&トライエリアを展開し、カムコーダー、リモートカメラなどの最新機材が展示されました。また、AI を活用したワークフローの効率化ソリューションの紹介やデモンストレーションが実施されました。

【ソニー】

「Creativity Connected」をテーマにオンプレミスとクラウドを組み合わせたライブ制作ソリューション、多様なカメラ、通信技術、AI、メタデータを組み合わせたクラウド制作プラットフォーム、バーチャルプロダクションのための新技術の展示が行われました。

【国際電気】

送信機関係は、ブラジル TV3.0 対応の新周波数 300MHz 帯の MIMO 送信機（出力 1kW）と、フルデジタル変調処理の FM 送信機（出力 5kW）の静態展示のほか、スロー対応の 4K カメラ、多目的ボックスカメラなどの展示が行われました。

【朋栄（FOR-A）】

各種映像機器の機能をソフトウェア／IP 化した機能統合型ソリューションや新 12G-SDI 対応ビデオスイッチャーを中心に展示され、クラウドや AI を活用した最新ワークフロー、LED ウォールの展示も行われました。



パナソニック



ソニー



国際電気



朋栄

4. ブラジルSET:30朝会合

NAB Show の期間に合わせ、ブラジル放送技術協会（SET）は LVCC 内の会議室を借りて展示会開始時間の 9 時まで SET:30 と称する朝会を例年開催しています。今年は 4 月 6 日（日）から 8 日（火）の 3 日間で開催されました。初日は、SET 新会長の Paulo Henrique Castro 氏のオープニング挨拶後、SBTV-D-F 会長の Raymund Barros 氏（TV Globo CTO）より世界初の TV3.0（DTV+）用のセットトップボックス（STB）とアンテナのプロトタイプの発表がありました。その後、ATSC 会長の Madeleine Noland 氏のキーノートスピーチがありました。

3 日間を通して、TV3.0 の最新動向に関する講演、TV3.0 導入に向けた周波数政策や新たな法令（2025 年 1 月制定の Resolução n°772）および 300MHz 帯の放送周波数割り当てについての説明、放送業界の最新トレンドや高効率な収益化手法についての議論などが行われました。



SET 会長 Castro 氏



ATSC 会長 Noland 氏

5. カンファレンス

期間中、多数のセミナーやカンファレンスが開催されましたが、放送関連の Broadcast Engineering and IT（BEIT）Conference が 4 月 5 日（土）から 8 日（火）までの間、開催されました。主な技術的なトピックは「クラウド化・IP 化の加速」、「レジリエンス・セキュリティ・品質管理の強化」、「AI・自動化技術の普及」、「映像・音声サービスの多様化と品質向上」などで、放送技術のクラウド・AI・IP・多様化・レジリエンスの進化が鮮明に示された年となりました。

FoBTV 技術委員会の概要報告

1. はじめに

FoBTV（Future of Broadcast Television）は、2011 年、当時の NHK 放送技術研究所長の久保田啓一氏が ATSC 会長の Mark Richer 氏らに働きかけ、組織されました。目的は、地上デジタルテレビジョン放送やネットワーク技術が急速に発展する中、地上波放送の将来について国際間の協力関係を構築することであり、翌年に開催された NAB Show 2012 でパネルディスカッションが行われスタートしました。

2. FoBTv技術委員会（於NAB Show 2025）

4月9日（水）、ラスベガス・コンベンションセンターW203会議室においてハイブリッド形式で開催されました。出席団体は、ATSC（米・地上デジタルテレビジョン放送規格団体）、



FoBTv 技術委員会 全体の様子

NAB（全米放送事業者協会）、DVB（欧・デジタルテレビジョン放送規格団体）、5G-MAG（5G Media Action Group）、ARIB、NHK、ETRI（韓国電子通信研究院）、NERC-DTV（上海デジタル テレビ ナショナル エンジニアリング リサーチ センター）、SET（ブラジルテレビ技術協会）/TV Globo です。

各組織がそれぞれの最新状況について報告を行い、意見交換を実施しました。

（報告者とテーマは下記のとおり）

- (1) Emily Dubs, Head of Technology, DVB, Europe
Progress in the specification and development of DVB-I
- (2) Madeleine Noland, President, ATSC, North America
Latest developments in ATSC 3.0
- (3) Lynn Claudy, Senior Vice President of Technology, NAB, North America
ATSC 3.0 Transition Update in the U.S.
- (4) Ana Eliza, Head of Technology Regulatory, TV Globo, Brazil
Progress of Brazil's next-generation broadcasting standard “TV 3.0” project
- (5) 瀧口吉郎担当部長, ARIB, Japan
Standardization Trends on Advanced ISDB-T
- (6) 神原浩平副部長, NHK, Japan
Details of Advanced ISDB-T
- (7) Sung-ik Park, Principal Researcher, ETRI, Korea
Korea Status & Report
- (8) Minhao Li, Executive Researcher, NERC-DTV, China
Next Generation Media Broadcast Updates
- (9) Javier Rodriguez Fernandez, 5G-MAG
Driving Standards for Connected Media Experiences

報告の中で ATSC からは、ATSC3.0 の最新動向、特にブラジルとの協力関係について説明があったほか、現在の米国での世帯カバー率が 75%以上であることやテレビの販売予測が紹介されました。また、NAB が FCC に提出した請願書の内容（移行完了期限の設定、チューナー搭載義務化ルールの更新、プロミネンス確保、サイマル放送緩和等）について詳しく説明がありました。その他、欧州から DVB-I の規格化、取り組み状況等、TV-Globo（ブラジル）から TV3.0（DTV+）の試験放送スケジュール等、ETRI（韓国）からは AI 技術の放送活用・放送測位システム（BPS）の研究開発等、NERC-DTV（中国）から中国のインタラクティブサービスへの取り組み等が紹介されました。

3. 次回予定

次回は IBC (International Broadcasting Convention) 2025 の開催 (9 月 12 日～9 月 15 日) に合わせて開催予定です。

第 213 回 ARIB 電波利用セミナーを開催 「無線システムの上空利用に係る検討状況」

4 月 17 日 (木) に第 213 回 ARIB 電波利用セミナーをオンラインセミナーとして開催しました。

総務省総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課基幹通信室課長補佐の皆川克義氏を講師にお招きし、「無線システムの上空利用に係る検討状況」と題してご講演いただきました。

ご講演ではドローンに対する 5.8GHz 帯、携帯電話、無線 LAN 等の無線システム活用に関する検討状況や、多数のドローンを安定して高密度で運用可能にする高度運用調整についてご説明いただきました。

当日は、約 90 名の会員の皆様が参加され、オンラインでご聴講いただくとともに、熱心な質疑応答が行われました。

なお、講演資料は、当会ホームページ内「ARIB 会員のページ」の <https://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/konwakai/index.html> において公開しております。



総務省 皆川氏

第 340 回技術委員会（通信分野）を開催

第 340 回技術委員会（通信分野）を開催しました。

1. 日 時： 2025 年 4 月 23 日 (水) 15 時 30 分～16 時 25 分
2. 場所・形態： 当会第 3 会議室 (Web会議併用)
3. 議 題：
 - (1) 第124回規格会議の結果について
 - (2) XGモバイル推進フォーラム2024年度定時総会の概要報告について
 - (3) APT無線グループ第34回会合 (AWG-34) の概要報告について
 - (4) 電波の日記念講演会の開催について

- (5) 各社からのトピックス
- (6) その他

ARIB 内会合（4 月 28 日～5 月 9 日）予定

予定している会合はありません。

国際会合（4 月 28 日～5 月 9 日）予定

予定している会合はありません。

総務省などからのお知らせ

無線技術を活用した先進的な課題解決モデルの創出・横展開のための 社会実証の二次公募開始

【令和 7 年 4 月 18 日発表】

総務省は、デジタル技術を活用した地域課題解決の取組を総合的に支援する「地域社会 DX 推進パッケージ事業」の一環として実施する先進的ソリューションの実用化支援（先進無線システム活用タイプ）について、令和 7 年 4 月 18 日（金）から 5 月 19 日（月）までの間、二次公募を実施しています。

詳細については[【令和 7 年 4 月 18 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

基礎的電気通信役務の提供に係る交付金及び負担金算定等規則の一部を改正する省令の一部を改正する省令案に対する意見募集

【令和 7 年 4 月 23 日発表】

情報通信行政・郵政行政審議会（会長：相田 仁 東京大学特命教授）は、総務大臣から「基礎的電気通信役務の提供に係る交付金及び負担金算定等規則の一部を改正する省令の一部を改正する省令案」について諮問を受けました。

電気通信事業部会における調査審議の結果、同省令案に対し、令和 7 年 4 月 24 日（木）から同年 5 月 23 日（金）までの間、意見募集を行っています。

詳細については[【令和 7 年 4 月 23 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

※次号の発行は 5 月 12 日（月）の予定です。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp